

てをつなご

2018.Spring vol.118 年4回発行

てをつなご

発行・編集 高知県ボランティア・NPOセンター
〒780-8567 高知市朝倉1375-1 高知県立くし交流プラザ4F 高知県社会福祉協議会内
Tel 088-850-9100 Fax 088-844-3882 E-mail:kvno@pipikoo.or.jp

NPO 30generation インタビュー

高知県の30歳代のNPOスタッフへのインタビューです。



NPO法人 まちづくり須崎 上野 伊代さん

●日頃は、どのような活動(動き)をしていますか?
本業は「NPO法人 まちづくり須崎」で地域コーディネーターとして仕事をしています。
主には地域の拠点である公民館長や職員さんとコミュニケーションを取りながら、地域の課題や現状などをヒアリングし、市役所の担当者と共有、事業提案などを行っています。
本業以外には、浦ノ内地区の青年団「りぐる浦ノ内」や「すさき女子」といった地域団体に制作物や企画、イベントの運営、その他サポート等を行っています。

●活動していて楽しいことはなんですか? 関わってくださっている方が応援してくれることや町のファンになる人が増えること、そして地域の方や環境が少しずつ変化していく姿が一番近くで見られることです。何よりも自分たちの町にあつらいいな、おもしろいだろうな、と思うことやものを一緒に企画し、実現できる仲間と時間を共にできることです。

●趣味、特技を教えてください
趣味は旅行です。仕事や活動を通じて知り合った人たちに会いに行っています。あとは須崎の皆との飲み会ですね。

●「すさき」の魅力を教えてください。
ありきたりですが、やっぱり人です。ここ数年は市長をはじめとする行政、民間、NPOなど様々な立場の人たちが主体的にまちづくりに参加している実感があります。同年代の皆は刺激をくれる存在ですが、私よりも年代が上の方たちは背中を押してくれたり、応援をしてくれたり、といつも助けてもらっています。
町を元気にしたいと活動してこられた先輩方がいてくれて心強いですし、若い人たちを支える風土が須崎にあることを日々感じています。

●これからやってみたいことを教えてください。
以前、須崎市でも開催した四国女子会の高知版のようなものはやってみたいなあ、と思っています。
高知県内にいる魅力的で素敵な人たちの繋がりを須崎の中にも広げていきたいです。



★須崎★うつぽ祭り

CONTENTS

Awesome NPO
須崎市の注目NPO
すさき女子

NPO 30generation
30歳代のNPOスタッフインタビュー
上野 伊代さん



平成30年2月4日開催の「須崎市うつぽ祭り」より
しんじょう君(© 須崎市2013承認番号1064)と
須崎中学校生徒のみなさん

暮らしすさき

過疎化に歯止めをかけ、地域コミュニティ再生や文化・産業の活性化、交流人口の増加などを目指すNPO団体。

アーティストインレジデンス須崎 現代地方譚

県内外から若手アーティストが集まり、滞在制作した美術作品を街の各所で展示。地域住民とアーティストの交流も行われるアート事業。

※見開きに掲載

四国女子会

地方に暮らし女性の課題をひとつでも解消し、地域でアクションを起こせるための第1歩を踏み出せるキッカケを創る場。



※見開きに掲載

須崎を発見! 回イまちあるき



鍋焼きラーメンやメジカの新子といった「定番」だけでなく、もう少しディープな須崎の魅力に触れることができるまちあるき。

りぐる浦ノ内

「子どもたちが誇れる、胸をはれる町にしよう」という活動指針に基づき、年間3~4回のイベント事業などを行っている地域団体。

セタかざり



須崎市の伝統文化「セタかざり」の次世代継承を行う団体。毎年セタ時期にイベントを開催。



まちづくり須崎

「すさき駅前食堂」の運営、太陽市への農産物出荷の他、イベント出店、地域資源を活用したイベント運営などを行っているNPO団体。

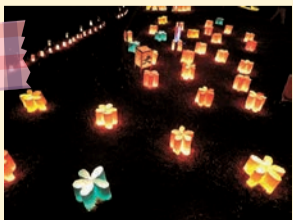
ワインバル

須崎駅前に不定期でオープンする新しい社交場。

浴衣ではんなり 女子じかん

コンセプトは「女子による女子のための女子イベント」。浴衣の着付けやメイク、ヘアセットなどをワンコインから楽しめるイベント。夜はバルを開催。

ぼっけん



吾桑地区の若者グループ。そうだ山キャンドルナイトイベントを開催。

うつぽ学会

須崎市のうつぽのブランド化をてがける団体。うつぽのPRやうつぽ祭りを開催。

Susaki Jyoshi

“すさき女子”とは…

「自分たちの暮らしを自分たちの手で楽しくする」こと、「できることをできるだけ」をモットーに、ゆるやかに繋がりながら活動している女性コミュニティです。



須崎市といえば、マスコットキャラクターしんじょう君や鍋焼きラーメンなど、全国的にも知られる名物を発出しています。今回、須崎が好き! 須崎を知ってもらいたい! 町を元気にしたい! という熱い想いを心に秘めた「すさき女子」のメンバーと出会いました。日頃は、それぞれが仕事に一生懸命で、自分たちでできることをできる範囲でつながることを目的にイベントなどに参加し、ひとつつながり、地域とつながっているさまざまな取り組みを紹介します。

●すさき女子
Mail: susakijyoshi2014@gmail.com
f https://ja-jp.facebook.com/SusakiJoshiJikan/

すさきまちかどギャラリー (旧三浦邸)



道をはさんで横の喫茶店も注目!

そこは、異空間の世界
—— ドアを開け、一步入ると芸術に出会える空間。

須崎市役所が町の発展に貢献した実業家の邸宅を取得し、その中にひろがる空間は外の環境とは異なる空気となっています。奥の日本家屋も立派なアートであり、その中に作品が展示され、相互関係においてマッチングされています。職員である〈すさき女子〉佐々木さんと川鍋館長さんに話を聞くなか、お2人の想いのつまったギャラリーであり、何か安堵感に包まれた気分となりました。奥の日本家屋では、レンタルスペースとしてグループによる使用もOK! 過去には、結婚式をされたこともあるとのこと。

あつという間に時間がすぎ、ドアを開け、一步出るとそこは日常の世界。佐々木さんに同行いただき、徒歩5分の廃業した銭湯「錦湯」へ。男湯・女湯の入り口を入るとそれぞれに異なるアート作品が展示されており、他ではみられない銭湯と芸術のコラボです。今回は、アーティスト インレジデンス須崎「現代地方譚」(2018年1月19日~2月18日)に訪れましたが、この期間だけ入れることができる銭湯です。



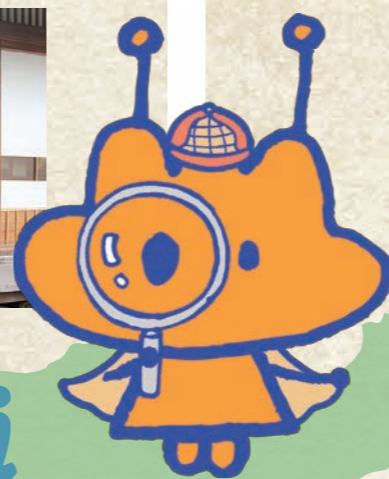
すさきまちかどギャラリーをさっそく探索してみても...

須崎市青木町1-16
TEL 050-8803-8668



対応いただいた佐々木さん

Susaki



地域とつながる

まっことまっこと 梅原晴雲堂 ●すさきまちかどギャラリー
かわうその里 すさき

ひとつつながる

鳴無神社 この神社、なんと読む?!

須崎市浦ノ内湾に面した鳴無(おとなし)神社。創建は、460年と伝えられており、国の重要文化財に指定されています。その昔は、船で神社まいりをしていたとも伝えられ、おみくじは海へ流すことができます。御神徳は縁結び、家内安全、五穀豊穡。特に縁結びでは、婚活イベントのポイントでもあり、風のうわさでは、有名人もお忍びで神社まいりをしたとか。一度、参拝してみてください...

須崎市浦ノ内東分字鳴無3579



りぐる浦ノ内



いま! 浦ノ内地区がなんだか、あつ、アツイ、atui、熱——い!

地域のこどもたちが自分の生まれ育った町を愛し、誇りに思えるよう、様々な活動を行うことを目的に浦ノ内地区青壮年の会「りぐる浦ノ内」が2011年12月に誕生しました。



まずは、地区外の人々に浦ノ内を知ってもらうことを目的にイベントを開催。単なるイベントをやるのではなく、浦ノ内・須崎の特産品である食に、誰でも参加できる体育祭を組み合わせた「鯛伊食祭」を企画し実施。今年(2月)も約2,000人の来場がありました。リピーターの参加者も多く、地区をあげてのイベントとなりつつあります。また、その他の婚活・スポーツイベントなども吟味して取り組んでいます。りぐる浦ノ内の挑戦は、まだまだ続きます。

Facebook: りぐる浦ノ内で検索

すさき女子 おすすめお菓子

梅原晴雲堂のかりんとうまんじゅう

すさきの街中にある「梅原晴雲堂」さん。地元の素材を生かした和菓子と洋菓子を製造されています。突然にうかがい、記事掲載の依頼をしたところ、店主からは、二つ返事で了承いただきました。



すぐさま、かりんとうまんじゅうを購入し、味見をしたところ、なになんかつかしく、また、店主のあたたかさが伝わるおまんじゅうでした。とってもおいしかったので、日を空けずにまた、買いに行っていました。



須崎市中町1丁目5-9
TEL 0889-42-0254
定休日: 日曜

同じ商店街のお醤油屋さん、元気なおかみさんあり!

1日限定、100個。かわうそ焼き

かわうそのかたちをしたやわらかい生地のお菓子。昔懐かしい味がする、小豆あん・白あん・カスタードの3種類があります。山本さんがひとりですべての作業を行っており、1日にできる個数は100個程度。ひとつひとつに心がこもっています。道の駅「かわうその里すさき」や須崎駅前観光案内所『まっことまっこと』(不定期)で販売されています。ひとつくち、といわず、3種類ともいかがですか?



我らかわうそ3兄弟!

自称須崎市黙認キャラクター 茶子さん

知る人ぞ知る! お茶の妖精「茶子さん」。

彼女(?)は、須崎のイベントやお茶に関するイベントに不定期に現れ、圧倒的オーラでみんなの視線を釘付けにしています。小さな子どもの反応は、興味津々で近寄ってくるか、後ずさりするかに分かれるのだとか。そんな茶子さんを、すさき女子のメンバーからなる『茶子ラー』が応援! 茶子さんも茶子ラーも根っこにあるのは、須崎への愛。須崎を楽しくをモットーに一緒にイベントを盛り上げます。



茶子ラーのみなさん